

事務事業名		移住定住情報発信・相談事業		所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課
総 計 画 体 系	政策名	(I)みんなで築くまち《協働・行政経営》		所属G	うんなん暮らし推進グループ	課長名	奥田 清
	施策名	(02)移住・交流の推進		担当者名	安部真美	電話番号	0854-40-1014 (内線) 2321
	目的 対 象	市外の人・市民	意図	雲南市を好きになり、移住・定住してもらう。			
	基本事業名	(006)移住のための相談・支援体制の充実		予算科目	会計 款 大事業 大 0 1 1 0 0 3 事業名 項 目 中事業 中 0 5 6 5 0 1 事業名	定住対策促進事業 定住対策促進事業	
目的 対 象	市外の人・市民	意図	安心して移住・定住してもらう。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (27年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
定住情報サイト「ほっこり雲南」や全国移住ナビなど関係機関が運営するwebサイトを活用し、情報発信を行うとともに、東京・大阪・広島での定住相談イベントやJOIN(一般社団法人移住・交流推進機構)が主催するイベントへ参加し、雲南市の定住支援情報を発信する。定住相談の総合窓口として、専属スタッフによる空き家など住居情報の提供や就業・就農支援、定住後の生活サポートを行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	27年度実績(27年度に行った主な活動) ・定住相談への対応(住居情報の提供、就業就農支援、定住後のフォロー) ・空き家バンクの運営 ・雲南市不動産協会との連携 ・農地つき空き家活用制度の運用 ・定住支援情報の発信(定住サイトの運営) ・定住フェアイベントへの参加	28年度計画(28年度に計画する主な活動) ・定住相談への対応(住居情報の提供、就業就農支援、定住後のフォロー) ・空き家バンクの運営 ・雲南市不動産協会との連携 ・農地つき空き家活用制度の運用 ・定住支援情報の発信(定住サイトの運営) ・定住フェアイベントへの参加				
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア 相談件数	件	185	212	282	300
	イ 空き家調査数	件	28	32	41	45
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	市民・市外から移住を考える人	ア 相談件数	件	185	212	282	300
		イ 空き家バンク登録数(年度増加数)	件	10	24	21	25
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
雲南市へ定住してもらう	ア 転入者人口	人	911	830	963	959	
	イ 市外から移住した人数(定住推進員がワンストップ窓口として関わるもの)	世帯・人	22・55	22・44	43・80	43・108	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)	
・報償費 116千円 ・費用弁償 1,187千円 ・旅費 1,111千円 ・需用費 275千円 ・役務費 220千円 ・委託料 2,146千円 ・使用料及び賃借料 440千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円			4,952	
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				5,813
		一般財源	千円			543	
	事業費計(A)	千円			5,495	5,813	
人 件 費	正規職員従事人数	人			2		
	延べ業務時間	時間			1,587		
	人件費計(B)	千円			6,212		
トータルコスト(A)+(B)		千円			11,707		

※事業分割のため平成27年度決算より記載。

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
田舎暮らしを希望する都会のUIターン希望者が増加しており、相談件数も年々増加している。また、高齢化が進む集落が増加しており、後継者対策が喫緊の課題となっている。	関係部局・団体との連携強化を図るため、人口の社会増の推進体制を構築するとともに、定期的に担当者レベルの会議を行い情報共有に努めている。子育て世代などの若い世代に向けた情報発信を強化している。定住支援スタッフの体制強化により、きめ細やかな対応を図っている。	定住相談のワンストップ窓口として対応していることから、移住・定住希望者に喜ばれており、実績も上がっている。 女性目線に立った相談体制の強化を図ることが求められている。

事務事業名	移住定住情報発信・相談事業	所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課
-------	---------------	-----	-------	-----	------------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	各部局と連携し移住者等の支援の充実や情報提供を行う。積極的な移住定住に向けた情報発信を行うとともに、UIターンフェア等の参加回数を増加する。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	人口減少、特に人口の社会減がさらに進むとともに空き家が増加し、地域の活力が衰退する。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	現状、他に類似事業がない。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	第2次雲南市総合計画において、人口の社会増を最優先の課題として取り組むには、事業費の削減は難しい。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	相談件数が増えている上、空き家や農地など移住者のニーズも多様化しており、定住フェア等への積極的な参加も行い、休日も含め即時対応している。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	移住定住相談者には全て平等に対応している。空き家についても、広く活用の呼びかけを行っている。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>移住定住対応スタッフを増員配置し、移住・定住希望者にきめ細かい対応を図る。</p> <p>市役所各部局と連携し、就業就農支援・子育て教育支援、住居支援の充実に努めるとともに、定住サイト・SNSによる情報発信及び都市圏で開催される定住フェアにおいて、移住希望者へ情報提供や相談を行いUIターンを促進する。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。</p> <p>コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		